

令和6年5月24日  
北海道開発局

## 「地域共創インフラツアー」第二弾！

～地域と共に創り上げるストーリー性のあるインフラツアーを企画・催行する旅行会社を募集～

北海道開発局では、公共施設(インフラ)を観光活用することにより地域活性化に貢献するとともに、インフラへの理解を深めていただくことを目的に、インフラツーリズムに取り組んでいます。

このうち、「インフラが支えた地域発展の歴史」を柱に、地域の「歴史、産業、文化、食」といった様々な要素を取り入れ、地域と調整しながらストーリー創りを行い、関係機関と連携してツアーを実施していくことで、インフラを観光資源とし、地域活性化のためのツールの一つとして幅広く活用されることを目指した「地域共創インフラツアー」を実施します。

第二弾として、各テーマに沿ったツアーを、各開発建設部及び地域の関係者と共に企画し、催行していただける旅行会社を下記のとおり募集します。

### 記

#### 1 ツアーテーマ

(定山溪編)「国道230号の歴史をめぐる

～森を抜ける公園のような道はどのようにしてつくられたのか～

(砂川編)「日本3大河川石狩川の治水の歴史と砂川遊水地」

(夕張川編)「夕張川新水路等と、幌向自然再生地・舞鶴遊水地を巡り、

地域産業の発展を支えるインフラと自然環境との調和を探る旅」

(帯広編)「国立公園に指定される日高山脈の自然を眺めて十勝の川と農業を見学！体験！食べる！

～インフラ施設と農業を知って食に興味を持とう～

(網走編)「開拓の鋤(くわ)」から最先端技術まで～道路建設の過去・現在・未来～

2 募集期間 令和6年5月24日(金)～令和6年6月3日(月)

3 申込方法等 応募要領、申込様式、申込先等については、北海道開発局HPをご参照ください。

URL: <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001lr55.html>

4 企画内容等 詳細は別紙をご参照ください。

※ 第一弾と催行応募要領が異なりますので、必ずご確認の上、ご応募願います。

※ 第三弾については、準備が出来次第、募集を開始しますので、改めてお知らせします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 渡部 成人(内線5433)

開発監理部 開発連携推進課 上席専門官 杉山 隆一(内線5837)

開発監理部 開発連携推進課 早川 弘華(内線5442)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



## 令和6年度 地域共創インフラツアー 対象テーマと予約枠

	ツアーテーマ	時期	予約枠数
定山溪編	国道230号の歴史をめぐる ～森を抜ける公園のような道はどのようにしてつくられたのか～	8月4日（日）	全1回
砂川編	日本3大河川石狩川の治水の歴史と砂川遊水地	7月28日（日）	全1回
夕張川編	夕張川新水路等と、幌向自然再生地・舞鶴遊水地を巡り、 地域産業の発展を支えるインフラと自然環境との調和を探る旅	秋（9月～10月）頃	全1回
帯広編	国立公園に指定される日高山脈の自然を眺めて十勝の川と農業を見学！体験！食べる！ ～インフラ施設と農業を知って食に興味を持とう～	7月～9月	全1回
網走編	「開拓の鋤（くわ）」から最先端技術まで～道路建設の過去・現在・未来～	夏頃	全1回

各テーマの詳細、メニューリストは次ページ以降をご覧ください。

地域共創インフラツアー（定山溪編）

国道230号の歴史をめぐる

～森を抜ける公園のような道はどのようにしてつくられたのか～

予 約 枠 8月4日（日）・1回

担 当 札幌開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげた上で、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を最低1つ以上、行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

## 本ツアーのストーリー

- 国道230号の前身である本願寺街道の歴史と今も残る街道跡や、技術者の英知が込められた無意根大橋建設当時の歴史や国道から望む美しい風景を楽しむ。
- 国道230号（定山溪国道）の前身となる道路を東本願寺により整備されたことから、本願寺街道と呼ばれたことや、石切場からの札幌軟石輸送のために馬車鉄道が開業されたことから、石山通と呼ばれることとなった所以などを学ぶことができます。
- 定山溪国道の道路整備の歴史を学ぶことができます。  
(無意根大橋、KP40パーキングを見学。)
- 国道の維持、保全のための取組を見学できます。（豊滝除雪ステーションを見学。）

## メニューリスト

### ◆インフラ施設一覧

#### < 国道230号関連施設 >

##### ① 豊滝除雪ステーション

様々な除雪車を見学・除雪車の乗車体験、農産物季節販売会（予定）、国道230号の歴史紹介・パネルの展示。

##### ② 定山溪ダム

定山溪ダム下流園地での説明、資料館、定山溪ダム監査廊内クロスギャラリーにてパネル展示。

##### ③ 無意根大橋

渓谷の上で伸びやかに弧を描く無意根大橋を見学。建設の歴史や技術の紹介。

##### ④ KP40パーキング

山からの風景を眺めるビューポイント。

### ●連携できそうなメニュー一覧

- 定山溪発電所（現存する日本最古の発電所）
- 簾舞郷土資料館・旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋（宿泊・休憩所）・北海道遺産）
- 旧本願寺街道跡（現存する旧道跡）
- 石山緑地（札幌軟石の石切場（産出場所））
- 八剣山キッチン&マルシェ（ブドウ畑を眺望・地元の食材を使った昼食）

地域共創インフラツアー（砂川編）

## 日本3大河川石狩川の治水の歴史と砂川遊水地

予約枠 7月28日（日）・1回

担当 札幌開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげた上で、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を最低1つ以上、行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

### 📖 本ツアーのストーリー

#### ●北海道の生産空間を生み出した石狩川治水の歴史と 河川整備で創出された砂川遊水地の水辺空間

砂川遊水地は石狩川中流、砂川市に位置しています。かつては大雨が降るたびに氾濫を繰り返してきた石狩川の洪水を防ぐため、石狩川のショートカット工事によって生まれた蛇行跡を活用して昭和62年から建設が始まり、平成7年に完成しました。ふだんは様々なウォーターレジャーも楽しめる憩いの水辺空間として利用されています。

- 北海道開発の礎となる石狩川の河川整備の歴史を学ぶことができます。
- 石狩川最後の捷水路整備と昭和56年の洪水災害を契機に旧河川を活用した遊水地整備を学ぶことができます。
- 砂川遊水地の広大な土地の活用を図ります。
- 遊水地を利用したアクティビティ（ヨット、アクアボール、メガサップ、ボートなどの水上レジャー）を楽しむことができます。〔7月28日(日)限定〕

### メニューリスト

#### ◆インフラ施設一覧

##### ① 砂川遊水地（砂川遊水地管理センター・越流堤）

#### ◇連携できそうなメニュー一覧

砂川スイートロード（国道12号）の菓子店、砂川ハイウェイオアシス、砂川市内の農園・果樹園

地域共創インフラツアー（夕張川編）

夕張川新水路等と、幌向自然再生地・舞鶴遊水地を巡り、  
地域産業の発展を支えるインフラと自然環境との調和を探る旅

予 約 枠 秋（9月～10月）頃・1回

担 当 札幌開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげた上で、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を最低1つ以上、行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

## 📖 本ツアーのストーリー

明治時代に広大な泥炭湿地であった幌向原野に開拓の鍬が入り、夕張川新水路の通水で流域の治水事業が進展した結果、原野一帯は豊かな農地に変貌し、背後に位置する夕張炭田の石炭産業とともに地域産業も発展しました。

一方、多様な湿性植物が生育していた幌向原野の泥炭湿地は開発によってほぼ消失し、わずかに点在するのみとなっており、近年、これらの湿原を再生する試みが行われ、豊かな自然を回復させようとする動きが活発になっています。

この幌向原野における地域産業と自然環境との調和への道をたどり、持続可能な産業や生産空間の未来とは何かを考察します。

### メニューリスト

#### ◆インフラ施設一覧

①幌向自然再生地 失われた幌向湿原の再生を目指す

②旧夕張川左右岸築堤 バンザイ堤防と呼ばれた洪水との苦闘の歴史

③遊水地 舞鶴遊水地（治水対策）、タンチョウとの共生

#### ◇連携できそうなメニュー一覧

- 小林酒造：見学・食事休憩場所・小林家家屋見学
- KUBOTA AGURI FRONT：これからの農業を学ぶ体験施設
- 国有防風林・防雪林：農地の作物や土砂を風から守る施設

地域共創インフラツアー（帯広編）

国立公園に指定される日高山脈の自然を眺めて

十勝の川と農業を見学！体験！食べる！

～インフラ施設と農業を知って食に興味を持とう～

予 約 枠 7月～9月・1回

担 当 帯広開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげた上で、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を最低1つ以上、行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

## 📖 本ツアーのストーリー

日本を代表する「食料供給基地」である十勝の農業は、広大な平野を包み込むような山々からもたらされる豊かな土壌と豊富な水などによって支えられています。

この豊かさは自然のみで生み出されたものではなく、ダムの建設や堰堤の整備によって、洪水被害が抑えられ、また、かんがい排水事業による安定的な水の供給がなされることによって、効率的な農業生産が可能となりました。つまり、十勝の農業は、一見地味に感じるかもしれないインフラが下支えしているのです。

我が国の食卓を彩る農産物がどのように作られ、運ばれ、加工されているのか。本ツアーでは、その一連の流れを、国立公園に指定される日高山脈の自然を核としながら理解を深めるとともに、十勝が誇る大自然の恵みを肌で感じながら、その恩恵を最大限発揮できるよう自然と向き合ってきた人間の営為を学ぶことができます。

### メニューリスト

#### ◆インフラ施設一覧

① 美生ダム

② 芽室川西地区（国営かんがい排水事業）

③ 札内川第1号砂防堰堤

④ 札内川ダム

#### ◇連携できそうなメニュー一覧

道の駅なかさつない、道の駅おとふけ、農家・食品関連施設、資料館など

地域共創インフラツアー（網走編）

「開拓の鋤（くわ）」から最先端技術まで

～道路建設の過去・現在・未来～

予約枠 夏頃・1回

担当 網走開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげた上で、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を最低1つ以上、行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

## 📖 本ツアーのストーリー

### ● 国道建設の過去と現在を巡る旅

○過去にロシアの南下政策への対応として、軍事目的で多くの囚人の犠牲の下で建設された中央道路（別名：囚人道路）の歴史と、BIM/CIM（3次元モデル：北海道横断自動車道）や、ICT（情報通信技術：国道333号）等の最先端技術による現在の道路建設を知ることで、インフラ整備の過去・現在・未来を学ぶことができます。

#### メニューリスト

### ◆インフラ施設一覧

- ① 北海道横断自動車道（網走線）端野高野道路 工事現場【高野中央橋】  
または
- ② 国道333号生田原道路工事現場【記念跨道橋及び土工事】
- ③ 鹿ノ子ダム

### ◇連携できそうなメニュー一覧

博物館網走監獄、網走刑務所（外観と刑務所作業製品展示場のみ見学可）、武華駅通、鎖塚、端野町歴史民俗資料館